

平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アイケイ  
 コード番号 2722 URL <http://www.ai-kei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括  
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 飯田 裕  
 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-486-5050

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	2,581	23.9	67	—	59	—	29	—
23年5月期第1四半期	2,083	—	△8	—	△15	—	△13	—

(注)包括利益 24年5月期第1四半期 30百万円 (—%) 23年5月期第1四半期 △13百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	1,680.91	—
23年5月期第1四半期	△771.13	—

(注)平成23年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年5月期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第1四半期	4,115	1,326	32.1
23年5月期	4,115	1,322	32.0

(参考)自己資本 24年5月期第1四半期 1,321百万円 23年5月期 1,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	0.00	—	1,600.00	1,600.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,400	17.7	80	150.0	70	233.3	60	140.0	3,410.83
通期	11,600	13.8	300	66.7	290	70.6	210	31.3	11,937.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期1Q	19,520 株	23年5月期	19,520 株
② 期末自己株式数	24年5月期1Q	1,929 株	23年5月期	1,929 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期1Q	17,591 株	23年5月期1Q	17,591 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月11日に発生した東日本大震災により、経済活動への影響が続くものの、サプライチェーンの立て直しや復興需要等により、経済活動および個人消費等に回復の兆しが見られました。しかしながら、原発事故の影響による電力安定供給への懸念から企業の生産活動に一部支障が生じるほか、米国を中心とした世界経済の先行き不安やデフレの進行、雇用情勢の悪化懸念等により景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、通信販売事業では、ベンダーメーカーとしてのポジションを確立するため、引続き自社商品の開発に注力してまいりました。営業面では、化粧品企画が順調に推移しており、売上高牽引の一要因となっております。

SKINFOOD事業では、当四半期において直営店「ルミネ大宮店」、「天王寺MIO店」の2店を出店いたしました結果、当四半期末の店舗数は直営店16店、FC店3店の合計19店となりました。

CRMソリューション事業では、販売代理店の拡大に注力し営業力を強化してきたものの、本年3月11日に発生した東日本大震災の影響から企業による設備投資計画が後ろ倒しになったこともあり、販売動向は厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,581百万円（前年同期比23.9%増）、営業利益67百万円（前年同期は8百万円の営業損失）、経常利益59百万円（前年同期は15百万円の経常損失）、四半期純利益29百万円（前年同期は13百万円の四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

#### <通信販売事業>

売上高は2,280百万円（前年同期比16.2%増）となり、営業利益は65百万円（前年同期は1百万円の営業損失）となりました。

#### <SKINFOOD事業>

売上高は270百万円（前年同期比124.5%増）となり、営業利益は22百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

#### <CRMソリューション事業>

売上高は30百万円となり、営業損失は16百万円となりました。CRMソリューション事業は前第1四半期連結累計期間ではセグメントとして存在していないため、前年同期比については記載しておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前期末に比べ20百万円減少しました。主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が131百万円、「受取手形及び売掛金」が194百万円、それぞれ減少し「商品及び製品」が298百万円増加したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、19百万円増加しました。主な固定資産の変動は、「有形固定資産」が8百万円、「投資その他の資産」が12百万円、それぞれ増加したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は4,115百万円（前期末4,115百万円）となり、前期末とほぼ同額となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前期末に比べ11百万円増加しました。主な流動負債の変動は、「短期借入金」が50百万円、「役員賞与引当金」が12百万円、それぞれ減少し「支払手形及び買掛金」が99百万円増加したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前期末に比べ16百万円減少しました。主な固定負債の変動は、「長期借入金」が17百万円減少したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は2,788百万円となり、前期末に比べ4百万円減少しました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前期末に比べ4百万円増加しました。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が3百万円増加したことによります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年7月12日に公表いたしました平成24年5月期第2四半期(累計)、通期の業績予想に変更はありません。なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項ありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	307,419	176,333
受取手形及び売掛金	1,944,277	1,749,499
商品及び製品	757,384	1,059,476
原材料及び貯蔵品	3,255	4,559
その他	123,123	125,650
貸倒引当金	△4,979	△5,132
流動資産合計	3,130,480	3,110,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	285,535	292,958
土地	260,225	260,225
その他（純額）	16,407	17,167
有形固定資産合計	562,168	570,352
無形固定資産		
のれん	44,753	40,277
その他	59,418	63,462
無形固定資産合計	104,171	103,739
投資その他の資産		
その他	319,106	331,128
貸倒引当金	△142	△133
投資その他の資産合計	318,963	330,994
固定資産合計	985,304	1,005,087
資産合計	4,115,784	4,115,474
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	907,713	1,007,024
短期借入金	200,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	464,762	449,131
役員賞与引当金	21,800	9,200
ポイント引当金	15,468	15,694
返品調整引当金	10,460	8,806
その他	442,441	434,753
流動負債合計	2,062,645	2,074,609
固定負債		
長期借入金	562,016	544,368
退職給付引当金	51,564	50,998
役員退職慰労引当金	109,447	111,156
その他	7,451	7,451
固定負債合計	730,478	713,973

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
負債合計	2,793,123	2,788,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	324,449	324,449
利益剰余金	676,798	679,981
自己株式	△84,490	△84,490
株主資本合計	1,318,507	1,321,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△168	△336
その他の包括利益累計額合計	△168	△336
少数株主持分	4,321	5,538
純資産合計	1,322,660	1,326,892
負債純資産合計	4,115,784	4,115,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)
売上高	2,083,515	2,581,508
売上原価	1,288,583	1,560,982
売上総利益	794,932	1,020,525
販売費及び一般管理費	803,212	953,440
営業利益又は営業損失(△)	△8,279	67,085
営業外収益		
受取利息	26	34
受取手数料	1,791	1,481
助成金収入	1,400	—
その他	520	1,049
営業外収益合計	3,739	2,566
営業外費用		
支払利息	4,679	4,192
為替差損	6,614	5,520
営業外費用合計	11,293	9,713
経常利益又は経常損失(△)	△15,834	59,938
特別利益		
貸倒引当金戻入額	61	—
特別利益合計	61	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	82	—
特別損失合計	82	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△15,855	59,938
法人税等	△2,290	29,152
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△13,564	30,785
少数株主利益	—	1,216
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,564	29,568

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△13,564	30,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△216	△168
その他の包括利益合計	△216	△168
四半期包括利益	△13,780	30,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,780	29,400
少数株主に係る四半期包括利益	—	1,216

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	通信販売事業	SKINFOOD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,962,884	120,631	2,083,515	—	2,083,515
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	41,705	41,705	△41,705	—
計	1,962,884	162,336	2,125,221	△41,705	2,083,515
セグメント利益又は損失(△)	△1,832	△2,369	△4,201	△4,077	△8,279

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,077千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	通信販売事業	SKINFOOD事業	CRMソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,280,213	270,831	30,463	2,581,508	—	2,581,508
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,280,213	270,831	30,463	2,581,508	—	2,581,508
セグメント利益又は損失(△)	65,233	22,932	△16,605	71,561	△4,475	67,085

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,475千円は、のれん償却額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来「通信販売事業」及び「SKINFOOD事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、前第3四半期連結会計期間より、「通信販売事業」、「SKINFOOD事業」及び「CRMソリューション事業」の3つに変更しております。

この変更は、前第3四半期連結会計期間よりアルファコム株式会社を連結子会社としたことに伴い、「CRMソリューション事業」が新たに報告セグメントに加わったことによるものです。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。